

【定期予防接種（20歳未満）】

方法	場所	予防接種名	対象年齢	回数		”望ましい接種期間”	注意すること	
個別接種	市内指定医療機関 (※①)	B型肝炎	生後2か月から 1歳になる前まで	3回		1回目…生後2か月 2回目…生後3か月 3回目…生後7か月	27日以上の間隔を置いて2回目接種し1回目から139日以上の間隔を置いて3回目接種	
		五種混合 (ジフテリア 百日せき 破傷風・ポリオ Hib感染症)	生後2か月から 7歳6か月になる前まで	1期 初回	3回	生後2か月～11か月	20日以上の間隔（標準的には20～56日の間を置いて3回接種	
				1期 追加	1回	3回目終了後、1年～1年半までの間隔をおく	6か月以上の間隔を置いて1回接種	
		四種混合 (ジフテリア 百日せき 破傷風 ポリオ)	生後2か月から 7歳6か月になる前まで	1期 初回	3回	生後2か月～11か月	20日以上の間隔（標準的には20～56日の間を置いて3回接種	
				1期 追加	1回	3回目終了後、1年～1年半までの間隔をおく	6か月以上の間隔を置いて1回接種	
		二種混合 (ジフテリア 破傷風)	11歳以上13歳未満	2期	1回	11歳～12歳	1期の接種歴が必要になります。 対象時期に個別案内を郵送	
		肺炎球菌 (細菌性髄膜炎等)	生後2か月から 5歳になる前まで	初回	3回	生後2か月～11か月	27日以上の間隔を置いて3回接種	
				追加	1回	生後12～15か月	60日以上の間隔を置いて、生後12か月以降1回接種	
		ヒブ (ヒブ髄膜炎)	生後2か月から 5歳になる前まで	初回	3回	生後2か月～11か月	27日以上の間隔（標準的には27～56日）を置いて3回(生後12カ月までに)接種	
				追加	1回	3回目終了後、7～13月までの間隔をおく	7か月以上の間隔を置いて1回接種	
		日本脳炎 特例措置あり (※②)	生後6か月から 7歳6か月になる前まで	1期 初回	2回	3歳～4歳	6日以上（標準的には6～28日）の間隔 対象時期に個別案内を郵送	
				1期 追加	1回	4歳～5歳	6か月以上（標準的には概ね1年）の間隔を置いて1回接種	
				2期	1回	9歳～10歳	該当年度に個別通知	
		ヒトパピローマウイルス感染症	12歳となる日の年度の初日から16歳となる日の年度の末日まで	2価：3回		13歳となる日の年度の初日から当該年度の末日までの間	有効性と安全性を理解したうえで受けましょう(※④)	
				4価：3回				
				9価：3回 ：2回 1回目の接種時に12歳となる日の属する年度の初日から15歳になる前までに実施した場合に限る				
		ロタウイルス感染症	1価：出生6週0日から出生24週0日まで	1価：2回		初回接種 生後2か月～出生14週6日まで	ロタウイルス感染症には2種類のワクチンがあります。どちらのワクチンを接種しても同様の効果がありますが1回目に接種したワクチンと同じもので規定の回数を摂取する必要があります。	
			5価：出生6週0日から出生32週0日まで	5価：3回				
		麻しん風しん 特例措置あり (※⑤)	1歳児から2歳になる前まで	1期	1回	生後12～15か月	満1歳になったらできるだけ早く接種しましょう。	
			小学校就学前の1年間	2期	1回	幼稚園・保育所年長児になったらできるだけ早く	対象時期に個別案内を郵送	
		水痘 (水ぼうそう)	1歳児から3歳になる前まで	初回	1回	生後12～15か月	満1歳になったらできるだけ早く接種	
				追加	1回	初回終了後、6～12か月までの間隔をおく	3か月以上の間隔を置いて接種	
集団接種	保健センター	BCG (結核)	生後3か月から1歳になる前まで	1回 *スタンプ方式で接種	生後5か月～7か月	※実施日程(※③) 対象の方には案内を郵送します。		
							4週間以上あける	※他の生ワクチン（ロタ以外） 予防接種を受けるときは接種後

※他の生ワクチン（ロタ以外）
※予防接種を受けるときは接種後
4週間以上あける

以下の詳細についてはこの表（PDF）を閉じ、リンク先をご覧ください。

※①市内指定医療機関 ※②日本脳炎 ※③BCG実施日程 ※④ヒトパピローマウイルス感染症
※⑤麻しん風しん